

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	くわみず病院
所 在 地	熊本県熊本市中央区神水1-14-41
現行の許可病床数 (病床機能)	43床（急性期）、50床（回復期）
病床稼働率 (H30年度)※	90.0% ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載
変更後の 許可病床数	90床
減少前の病床機能を急性期として選択している理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当院では主に以下の急性期医療を提供しており、常時入院患者の50%以上が急性期の患者である。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者救急を中心として、救急車による一次及び二次救急搬入を年間約1,000件の受入れ</li> <li>・誤嚥性肺炎、肺炎、尿路感染症、心不全等の内科系の治療</li> </ul> </li> </ul>
病床数の減少前の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内科を中心に地域のかかりつけ医として患者の急変時の入院治療と基礎疾患の管理、検査、また感染症などの2次救急の役割を担ってきた。</li> <li>○在宅治療を希望される方の往診・訪問診療も実施。</li> <li>○近隣の基幹病院と連携を図り、術後の患者の治療を行ってきた。</li> </ul>
病床数の減少後の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域住民の高齢化や連携している基幹病院からの入院依頼等を鑑み、急性期病床を縮小し回復期の入院治療や在宅診療において地域医療に力を発揮したい。</li> <li>○引き続き、地域のかかりつけ医療機関として内科、総合診療を中心し外来治療を実施。通院が困難な患者には在宅診療も積極的に行う。</li> </ul>
病床数減少のスケジュール	令和8年3月31日3床減少
計画完了までの病床数の変遷について	別紙1のとおり

## 別紙1

## 計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	くわみず病院
-------	--------

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	
							うち対象3区分(※) の合計	
平成30年度病床機能報告	許可病床数	0	52	48	0	0	100	52
	稼働病床数	0	52	48	0	0	100	52
令和元年度病床機能報告	許可病床数	0	52	48	0	0	100	52
	稼働病床数	0	52	48	0	0	100	52
令和2年4月1日時点	許可病床数	0	52	48	0	0	100	52
	稼働病床数	0	52	48	0	0	100	52
令和7年5月1日時点	許可病床数	0	50	50	0	0	100	50
	稼働病床数	0	50	50	0	0	100	50
令和7年10月1日時点	許可病床数	0	43	50	0	0	93	43
	稼働病床数	0	43	50	0	0	93	43
令和8年3月31日時点(計画完了時) (令和8年3月31日までに 必ず完了させてください)	許可病床数	0	40	50	0	0	90	40
	稼働病床数	0	40	50	0	0	90	40

※対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	田代産婦人科医院
所在 地	熊本県熊本市中央区大江 4-5-5
現行の許可病床数 (病床機能)	16床 (急性期)
病床稼働率 (H30年度)※	29、8%
変更後の 許可病床数	10床
減少前の病床機能を急性期と して選択している理由	○主に、普通分娩、帝王切開の方のための病床として稼働していたため
病床数の減少前の役割	○普通分娩、切迫早産、異常分娩、選択及び緊急帝王切開、新生児管理など、主に急性期の方を対象とした、医師、看護師、助産師による24時間対応のケア管理を行ってきた。
病床数の減少後の役割	○出生数の減少を踏まえ、病床数を6床減らしつつ、これまでの役割を引き続き果たしていく。 ○当医院で分娩、帝王切開で入院退院された後の授乳や赤ちゃんの成長などの相談を受ける産後ケアや妊娠中のつわりや体調管理のための処置を行う。

病床数減少のスケジュール	令和8年3月15日に6床減少
--------------	----------------

計画完了までの病床数 の変遷について	別紙1のとおり
-----------------------	---------

## 別紙1

## 計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	田代産婦人科医院					
-------	----------	--	--	--	--	--

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※)の合計
平成30年度病床機能報告	許可病床数		16				16	16
	稼働病床数		16				16	16
令和元年度病床機能報告	許可病床数		16				16	16
	稼働病床数		16				16	16
令和2年4月1日時点	許可病床数		16				16	16
	稼働病床数		16				16	16
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和8年3月31日時点(計画完了時) (令和8年3月31日までに必ず完了させてください)	許可病床数		10				10	10
	稼働病床数		10				10	10

※対象3区分＝高度急性期、急性期、慢性期

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	鶴田胃腸科内科医院
所 在 地	熊本県熊本市中央区坪井1-9-26
現行の許可病床数 (病床機能)	5床 (急性期)
病床稼働率 (H30年度)※	15.1% ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載
変更後の 許可病床数	4床
減少前の病床機能を急性期として選択している理由	○内視鏡専門医として内視鏡的処置を施行後的一般状態観察や消化器専門医として外来患者の入院を要する治療に対応するために急性期を選択している
病床数の減少前の役割	○内科専門医、消化器専門医、内視鏡専門医、地域のかかりつけ医として患者の急変時の入院治療と基礎疾患の管理、検査また感染症など初期対応の役割を担ってきた。 ○近隣の基幹病院と連携を図り、外来の患者や診療を行ってきた。
病床数の減少後の役割	○引き続き、地域のかかりつけ医療機関として内科専門医、消化器専門医、内視鏡専門医として外来治療及び入院治療を行っていく。

病床数減少のスケジュール	令和8年2月1日に1床減少
--------------	---------------

計画完了までの病床数の変遷について	別紙1のとおり
-------------------	---------

## 別紙1

## 計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	鶴田胃腸科内科医院
-------	-----------

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※) の合計
平成30年度病床機能報告	許可病床数		5				5	5
	稼働病床数		5				5	5
令和元年度病床機能報告	許可病床数		5				5	5
	稼働病床数		5				5	5
令和2年4月1日時点	許可病床数		5				5	5
	稼働病床数		5				5	5
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0	0
	稼働病床数						0	0
令和8年3月31日時点(計画完了時) (令和8年3月31日までに 必ず完了させてください)	許可病床数		4				4	4
	稼働病床数		4				4	4

※対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	前田産婦人科
所 在 地	熊本県熊本市南区出仲間7-2-32
現行の許可病床数 (病床機能)	6床 (急性期)
病床稼働率 (H30年度)※	100.7% ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載
変更後の 許可病床数	2床
減少前の病床機能を急性期として選択している理由	○当院では、主に産科を中心とした急性期医療に重点を置いた医療を行い、救急車の受け入れもしている。24時間対応している。
病床数の減少前の役割	○産科分野では、妊娠期から分娩・産褥期までの、出産にかかる診療・指導を一貫して行ってきた。 ○主に正常分娩及び帝王切開術後の妊産婦及び新生児の入院管理を中心にして、ハイリスク分娩に関しては早期に連携病院への紹介に努めてきた。 ○婦人科分野では、主に外来診療を中心に行い、連携病院への紹介を行ってきた。
病床数の減少後の役割	○長期入院が必要な患者は、他の医療機関と連携を強化して対応することとし、産科分野では妊娠初期から32週までの妊婦検診を行い、出産後は心身のトラブルや育児へのアドバイスを行っていく。 ○妊娠悪阻、切迫流産など短期入院は引き続き、当院で管理を行う。婦人科分野では女性の生涯を通してのかかりつけ医の役割を担った外来医療に特化していく。
病床数減少のスケジュール	2025年12月31日で分娩取り扱いを中止し、2026年3月1日より病床数を2床に減らす。
計画完了までの病床数の変遷について	別紙1のとおり

## 計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	前田産婦人科					
-------	--------	--	--	--	--	--

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
							うち対象3区分(※) の合計
平成30年度病床機能報告	許可病床数		6				6
	稼働病床数		6				6
令和元年度病床機能報告	許可病床数		6				6
	稼働病床数		6				6
令和2年4月1日時点	許可病床数		6				6
	稼働病床数		6				6
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0
	稼働病床数						0
令和〇年〇月〇時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0
	稼働病床数						0
令和8年3月31日時点(計画完了時) (令和8年3月31日までに 必ず完了させてください)	許可病床数		2				2
	稼働病床数		2				2

※対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期

協議書（単独病床機能再編計画）

医療機関名	医療法人社団皆晴会 野田医院
所 在 地	熊本県上益城郡山都町浜町267
現行の許可病床数 (病床機能)	8床 (急性期)
病床稼働率 (H30年度)※	4.1% ※国のルールにより平成30年度稼働率を記載
変更後の 許可病床数	4床
減少前の病床機能を 急性期として選択している理由	○当院では内科、消化器内科、小児科を設置している。 ○一般内科や小児科、腹痛等の消化器症状など、急性期の症状に対応するために、急性期機能を選択している。
病床数の減少前の役割	○内科、消化器内科、小児科を設置し、地域のかかりつけ医として患者の急変時の入院治療と基礎疾患の管理、検査、また感染症などの1次救急の役割を担ってきた。 ○在宅治療を希望される方の往診、訪問診療も実施。癌患者の在宅での看取りを行ってきた。
病床数の減少後の役割	○引き続き、地域のかかりつけ医療機関として内科、消化器内科、小児科における患者の急変時の入院治療等を実施。通院が困難な患者には在宅医療や送迎を行う。

病床数減少のスケジュール	令和8年3月31日までに4床減少
--------------	------------------

計画完了までの病床数の変遷について	別紙1のとおり
-------------------	---------

## 計画完了までの病床数の変遷について

医療機関名	医療法人皆晴会 野田医院					
-------	--------------	--	--	--	--	--

区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
							うち対象3区分(※) の合計
平成30年度病床機能報告	許可病床数	0	8		0		8
	稼働病床数	0	8		0		8
令和元年度病床機能報告	許可病床数	0	8		0		8
	稼働病床数	0	8		0		8
令和2年4月1日時点	許可病床数	0	8		0		8
	稼働病床数	0	8		0		8
令和〇年0月0時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数				0		0
	稼働病床数						0
令和7年6月1時点(計画が複数年に及ぶ場合)	許可病床数						0
	稼働病床数						0
令和8年3月31日時点(計画完了時) (令和8年3月31日までに 必ず完了させてください)	許可病床数	0	4		0		4
	稼働病床数	0	4		0		4

※対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期